

## 子どもも大人も楽しめる！色をテーマにした昔のアニメーション

### 上映会「アニメ あらかると！ いろいろ色のアニメーション」を開催します

川崎市市民ミュージアムは、令和7年3月22日（土）に川崎市総合自治会館ホールにて、上映会「アニメ あらかると！ いろいろ色のアニメーション」を開催します。

本上映会のテーマは「色」です。白黒フィルムが主流だった時代に、様々な技法を使って色を表現した7作品と、平成元年に25名のアニメーション作家とワークショップ参加者で制作した当館のロゴマークを題材としたオリジナル作品の、計8作品を映写機を使ってフィルムで上映します。

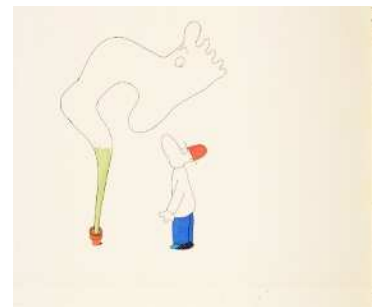
無声映画はサイレント映画ピアニストの柳下美恵氏による伴奏と、現在最も若い活動弁士として活躍する尾田直彪氏による活弁つき。また、上映の合間には学芸員が作品の技術や歴史を解説します。映画のカラー技術史をたどりながら作品鑑賞を楽しめる上映会です。



「なまくら刀【新最長版】」



「色彩幻想－過去のつまらぬ気がかり  
(Begone Dull Care)」



「アニメ あらかると」

## 《 概要 》

日時：令和7年3月22日（土）13：30～15：15 （受付・入場開始12：30）

料金：一般600円、小中高生400円

未就学児・障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

定員：110名（自由席）

※ベビーカー、車いすでの入場可（申込時に備考欄に記入）。

※小さなお子様は保護者同伴で参加。

会場：川崎市総合自治会館 ホール（中原区小杉町3丁目600番 コスギ サード アヴェニュー4階）

申込：事前申込制、当館 Web サイトの申込フォームから

申込期間 令和7年2月7日（金）10：00～2月28日（金）16：00

※1組4名まで応募可、申込多数の場合は抽選（当選者のみに3/10までに入場券となるハガキをお送りします）

▼申込・イベント Web サイト

<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/31430/>



主催：川崎市市民ミュージアム 協力：国立映画アーカイブ、カナダ国立映画制作庁 技術協力：有限会社鈴木映画

## 《 上映作品 》

### 染色のアニメーション

白黒のフィルムしかなかった時代、フィルムを染料で染めて色をつけていました。本上映会では、当時と同じ手法で白黒フィルムを染色して復元されたフィルムを上映します。

#### 「なまくら<sup>がたな</sup>刀【新最長版】」※伴奏・活弁つき

(大正 6(1917)年 監督：幸内純一 4分/35mm/染色/16fps) 製作：小林商会  
フィルム・画像提供：国立映画アーカイブ 原版協力：松本夏樹氏、本地陽彦氏



「漫画 二つの世界」

#### 「漫画 二つの世界」※伴奏・活弁つき

(昭和 4(1929)年 監督：村田安司 15分/35mm/染色/18fps) 製作：文部省  
フィルム・画像提供：国立映画アーカイブ



「春の唄」

#### 「春の唄<sup>うた</sup>」※伴奏・活弁つき

(昭和 6(1931)年 監督：大藤信郎 3分/35mm/染色/16fps) 製作：千代紙映画社  
フィルム・画像提供：国立映画アーカイブ 協力：神戸映画資料館

### キネマカラー

キネマカラーは明治 39 年に発明されたカラー映画技術で、白黒フィルムを赤と緑 2 色のフィルターを使って 1 コマずつ交互に撮影し、映写時も 2 色のフィルターを通して赤と緑の画像を交互に見せることで、目の残像で色が重なり、スクリーン上で天然色に見える仕組みです。今回上映する作品は、上映時にフィルターと同じ効果ができるようにフィルム自体を赤と緑に着色した抽象的なアニメーションです。

#### 「AN EXPRESSION【表現】」※伴奏つき

(昭和 10(1935)年 監督：荻野茂二 4分/ブルーレイ/カラー/32fps)  
フィルム・画像提供：国立映画アーカイブ

※キネマカラーの映写スピードを再現するためこの作品のみデジタルで上映します。

「AN EXPRESSION【表現】」

赤と緑に交互に着色された作品のフィルム



### 最初期の映画カラーフィルムで撮影したセル画のアニメーション

昭和 10 年に最初の映画用カラーフィルムが登場し、日本でも発売されました。戦前からカラー映画の研究をしていた大藤信郎は、早速カラーのセル画アニメーション『カツラ姫』の制作を開始。今回はそんな大藤の制作風景を撮影した記録映画を上映します。

#### 「色彩漫画の出来る迄<sup>でま</sup>【サイレント版】」※伴奏・活弁つき

(昭和 12(1937)年 監督：荻野茂二 出演：大藤信郎 5分/35mm/カラー/16fps)  
フィルム・画像提供：国立映画アーカイブ



「色彩漫画の出来る迄【サイレント版】」

### ダイレクトペイントのアニメーション

ダイレクトペイントはカメラで撮影せずフィルムに直接描く手法で、フィルムを削ったり、絵の具をのせたり、物を貼り付けるなど様々な表現があります。日本の作家にも影響を与えたノーマン・マクラレンの作品の中から、フィルムにエッチングやペイントをした作品を上映します。

## 「色彩幻想－過去のつまらぬ気がかり（Begone Dull Care）」

（昭和 24(1949)年 アニメーション：ノーマン・マクラレン、イブリン・ランバート 音楽：オスカー・ピーターソン・トリオ  
8分/16mm/カラー）製作：カナダ国立映画制作庁

### 国産カラーフィルムで撮影した色セロファンのアニメーション

1950年代になるとカラーフィルムのネガ・ポジが登場し、国産カラーフィルムの映画製作が始まりました。大藤信郎がフジカラーフィルムで撮影した、美しい色セロファンの影絵映画を紹介します。

#### 「幽霊船（YUUREISEN）【デジタル復元版】」

（昭和 31(1956)年 監督：大藤信郎 11分/35mm/カラー）

フィルム提供：国立映画アーカイブ



©映像文化製作者連盟

「幽霊船(YUUREISEN)【デジタル復元版】」

### 川崎市市民ミュージアム オリジナルアニメーション

#### 「アニメ あ・ら・かると」

（平成元(1989)年 演出：福島治 10分/35mm/カラー）

主な参加作家：鈴木伸一、藤幡正樹、小野耕世、岩井俊雄、古川タク、林静一、山村浩二、浅野優子、IKIF、相原信洋、福島治、久里洋二ほか



「アニメ あ・ら・かると」

#### 《 出演者 》

##### ◆伴奏者◆ 柳下 美恵

サイレント映画ピアニスト。平成 7(1995)年、映画生誕百年祭『光の生誕 リュミエール!』でデビュー。国内、海外の映画館、映画祭などで伴奏、ボローニャ復元映画祭にレギュラーピアニストとして招聘された。親子向けの上映会や映画音楽ワークショップ講師なども勤める。NHK プチプチ・アニメ『けいとのようせいニットとウール』の音楽を平成 27(2015)年より担当。



##### ◆活動弁士◆ 尾田 直彪

平成 12(2000)年、熊本県出身。令和 3(2021)年 10月、60年以上続く都内定期開催の活弁公演「無声映画鑑賞会」でデビュー。令和 4(2022)年より、国立映画アーカイブ「こども映画館」に出演。地元九州でも精力的に活弁公演を開催しており、現在最も若い活動弁士として活躍している。澤登翠門下。



photo by 向山勇夫

※「活弁」とは無声映画（活動写真）に専任の活動弁士が内容や台詞の解説を付けること。解説者を活動写真弁士（略して活動弁士、または弁士）と呼ぶ。

★上映会当日、紙のアンケートにお答えいただいた方に染色フィルムしおりをプレゼント。

★令和 6 年 11 月に開催したワークショップ「さわれるシネマ 染めてお絵描き！映画のフィルムでアニメーションをつくってみよう」参加者の作品も上映します。

ワークショップ「さわれるシネマ 染めてお絵描き！  
映画のフィルムでアニメーションをつくってみよう」  
当日の様子



【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 磯崎

電話：044-712-2800